

# SPA112およびSPA122の地域音声設定での呼出音およびコール待機パターンの設定

## 目的

呼出音と呼出待機パターンは、呼出音と呼出待機の間隔を調整するために使用されます。固有呼び出し音は、同じ回線上の異なる発信者を識別します。一方、コールウェイティングパターンは、同じ回線上で待機している異なる発信者を識別するために使用されます。この記事では、SPA112またはSPA122上の地域のバイスパラメータに固有の呼び出し音およびコールウェイティングパターンを設定する方法について説明します。

## 該当するデバイス

- ・ SPA112
- ・ SPA122

## [Software Version]

- 1.3.2(014)

## 固有呼び出し音およびコール待機パターンの設定

ステップ1：電話アダプタ設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [Regional]を選択します。[地域]ページが開きます。

## Regional

Distinctive Ring Patterns			
Ring1 Cadence:	60(2/4)	Ring2 Cadence:	60(.8/.4,.8/4)
Ring3 Cadence:	60(.4/2,.4/2,.8/4)	Ring4 Cadence:	60(.3/2,1/2,.3/4)
Ring5 Cadence:	1(.5/5)	Ring6 Cadence:	60(.2/4,.2/4,.2/4)
Ring7 Cadence:	60(.4/2,.4/2,.4/4)	Ring8 Cadence:	60(0.25/9.75)

Distinctive Call Waiting Tone Patterns			
CWT1 Cadence:	30(.3/9.7)	CWT2 Cadence:	30(.1/1,.1/9.7)
CWT3 Cadence:	30(.1/1,.1/1,.1/9.7)	CWT4 Cadence:	30(.1/1,.3/1,.1/9.3)
CWT5 Cadence:	1(.5/5)	CWT6 Cadence:	30(.1/1,.3/2,.3/9.1)
CWT7 Cadence:	30(.3/1,.3/1,.1/9.1)	CWT8 Cadence:	2.3(.3/2)

Distinctive Ring/CWT Pattern Names			
Ring1 Name:	Bellcore-r1	Ring2 Name:	Bellcore-r2
Ring3 Name:	Bellcore-r3	Ring4 Name:	Bellcore-r4
Ring5 Name:	Bellcore-r5	Ring6 Name:	Bellcore-r6
Ring7 Name:	Bellcore-r7	Ring8 Name:	Bellcore-r8

Ring and Call Waiting Tone Spec			
Ring Waveform:	Trapezoid	Ring Frequency:	20
Ring Voltage:	85	CWT Frequency:	440@-10
Synchronized Ring:	no		

Submit Cancel Refresh

## 特徴的なリングパターン

[Ring Cadence]フィールドの値（キャデンススクリプトと呼ばれる）は、次のように定義されます。トータルリング時間（トーンが秒単位で出力される時間/トーンがサイレント状態で秒単位で出力される時間）。たとえば、値60(2/4)は2秒間トーンを発した後、4秒間サイレント状態を維持し、60秒が経過するまで繰り返します。複数のトーンのオン/オフペアを1つのキャデンススクリプトで入力できます。

Distinctive Ring Patterns			
Ring1 Cadence:	60(2/4)	Ring2 Cadence:	60(.8/.4,.8/4)
Ring3 Cadence:	60(.4/2,.4/2,.8/4)	Ring4 Cadence:	60(.3/2,1/2,.3/4)
Ring5 Cadence:	1(.5/5)	Ring6 Cadence:	60(.2/4,.2/4,.2/4)
Ring7 Cadence:	60(.4/2,.4/2,.4/4)	Ring8 Cadence:	60(0.25/9.75)

ステップ2:[Ring Cadence]フィールドに値を入力します。これらは、デバイスに接続された電話機の対応する固有呼び出し音のキャデンススクリプトです。

ステップ3:[送信]ボタンをクリックして変更を保存します。

## 特徴的なコール待機トーンパターン

コールウェイティングトーン(CWT)は、同じ回線上で待機している別の発信者を識別するために使用されます。

Distinctive Call Waiting Tone Patterns			
CWT1 Cadence:	30(.3/9.7)	CWT2 Cadence:	30(.1/1.1, .1/9.7)
CWT3 Cadence:	30(.1/1.1, .1/1.1, .1/9.7)	CWT4 Cadence:	30(.1/1.1, .3/1.1, .1/9.3)
CWT5 Cadence:	1(.5/5)	CWT6 Cadence:	30(.1/1.1, .3/2, .3/9.1)
CWT7 Cadence:	30(.3/1.1, .3/1.1, .1/9.1)	CWT8 Cadence:	2.3(.3/2)

ステップ2:[CWT Cadence]フィールドに値を入力します。これらは、対応する固有のCWT用のキャデンススクリプトです。

ステップ3:[送信]ボタンをクリックして変更を保存します。

## 固有呼び出し音およびコール待機トーンパターン名

Distinctive Ring/CWT Pattern Names			
Ring1 Name:	Bellcore-r1	Ring2 Name:	Bellcore-r2
Ring3 Name:	Bellcore-r3	Ring4 Name:	Bellcore-r4
Ring5 Name:	Bellcore-r5	Ring6 Name:	Bellcore-r6
Ring7 Name:	Bellcore-r7	Ring8 Name:	Bellcore-r8
Ring Waveform:	Trapezoid ▼	Ring Frequency:	20
Ring Voltage:	85	CWT Frequency:	440@-10
Synchronized Ring:	no ▼		

ステップ2:[Ring Name]フィールドに値を入力します。これらは、着信コールに固有のリング/CWT 1 ~ 8を選択するためのINVITEのAlert-Infoヘッダー内の名前です。

Distinctive Ring/CWT Pattern Names			
Ring1 Name:	Bellcore-r1	Ring2 Name:	Bellcore-r2
Ring3 Name:	Bellcore-r3	Ring4 Name:	Bellcore-r4
Ring5 Name:	Bellcore-r5	Ring6 Name:	Bellcore-r6
Ring7 Name:	Bellcore-r7	Ring8 Name:	Bellcore-r8
Ring Waveform:	Trapezoid ▼	Ring Frequency:	20
Ring Voltage:	85	CWT Frequency:	440@-10
Synchronized Ring:	no ▼		

ステップ3:[Ring Waveform]ドロップダウンリストからコールに対して希望する波形を選択します。これは呼び出し信号の波形です。

- ・ シンソイド：リング信号は正弦波です。
- ・ 台形：リング信号は台形です。

ステップ4:[Ring Frequency]フィールドに目的の値を入力します。これは、10 ~ 100 Hzの範囲のリングング信号の周波数です。

ステップ5:[Ring Voltage]フィールドに目的の値を入力します。これは呼び出し電圧です。範囲は60 ~ 90 Vです。

ステップ6:[CWT Frequency]フィールドに目的の値を入力します。これは、コールウェイティングトーンの周波数スクリプトです。

ステップ7: ( オプション ) 1つの回線がコールに応答するまで、すべての回線を呼び出し音を鳴らすようにするには、[同期リング(Synchronized Ring)]ドロップダウンリストから[はい

(yes)]を選択します。デフォルト設定は no です。

ステップ8:[Submit]ボタンをクリックして変更を保存します。